

果敢な改革マインドで これからも大阪の改革をすすめます

大阪維新の会
大阪府議会議員団

大阪維新の会が府議会 第1党を確保

今春の府議会議員選挙は、維新府議団が4年前に断行した大幅削減(21人減)により、定数88人で改選されました。このうち大阪維新の会は43人が当選し、過半数にわずかに及ばなかったものの、改選前に引き続き第1党を確保しました。

府民の皆様の熱いご期待に応えるべく、この4年も、大阪を再生し魅力と活力を生み出すための大都市制度改革をはじめ、公務員改革、教育改革、議会改革など大胆な府政改革を、納税者目線と果敢な改革マインドで断行し、大阪から日本の新しい時代を切り拓いてまいります。



この43人の議員が果敢な改革マインドで府政を推進します (H27.6.2)

問われる大都市制度と大阪の将来

5月17日、全国が注目した住民投票で大阪都構想の協定書(設計図)が否決されましたが、賛成と反対の差は皆様ご承知のとおりわずか0.8%でした。この僅少差が物語るように、二重行政に対する批判の声や大阪経済の再生と成長に期待する機運は、むしろ高まっているものと思えます。

やはり将来をみずると、人口減少と東京一極集中の弊害が言われる中で、府民の間で大都市大阪のあり方をめぐる議論の、その必要性が増していくのではないのでしょうか。

大阪府議会5月定例会(平成27年5月28日~6月11日)

そのような中、改選後初の定例府議会が開かれました。その概要をご報告します。

1. 議長、常任委員会など新議会の構成

●新議長に今井 豊議員(貝塚市)が就任

議会運営の要である議長は88人の新府議による選挙により選出されます。

同選挙は5月28日に行われ、維新府議団の今井豊議員が自民党の候補者を破り当選し、第109代大阪府議会議長に就任しました。

今井 豊 第109代府議会議長



●総務常任委員会の委員長に土井達也議員が就任

8つの常任委員会のうち4委員会において、維新府議団の議員が就任しました。

総務常任委員会

土井 達也(泉南市・阪南市・田尻町・岬町)

環境農林水産常任委員会

やまのは創(羽曳野市)

都市住宅常任委員会

杉江 友介(吹田市)

警察常任委員会

久谷 眞敬(大阪市北区)



土井達也議員

土井達也議員は
議会運営委員会委員にも
選任されました。

●監査委員に西野修平議員(河内長野市)が就任

府議から1人選出する大阪府監査委員に、西野修平議員を選任する人事案件が6月2日に提出され、全会一致で同意し同議員が就任しました。

●府議会の会派構成図

維新の会 43人

自民党・無所属 26人

公明党 15人

日本共産党 3人

民主党 1人

2. 議案の審議



松井知事の議案説明 (H27.6.2)

●どうなる? 二重行政解消

「大阪会議」設置条例案を提出するも、実務機関の「府市連携局」設置案を否定。大きな矛盾が露呈し本気度疑われる自民党。

①「大阪戦略調整会議」(大阪会議) 設置条例案に維新が賛成し成立

大阪の広域課題を府と大阪、堺両市の首長と議員が協議し、二重行政の解消を目指す「大阪会議」条例案が自民党から提出されましたが、一部条項に違法性が指摘されるなど内容的に問題の多い議案でした。



総務常任委員会での質疑 (H27.6.11)

委員会質疑で厳しく指摘してきたことにより、同条例案は修正されたので、維新府議団は二重行政の解消と大阪の成長戦略が、例え1mmでも進めばよしとした考えで賛成に転じた結果、条例案は成立しました。

提案した自民党は、都構想に代わる府市連携策にさらに堺市も参加する「大阪会議」を1日でも早くスタートさせ、引き続き二重行政の解消、行政の効率化を、責任をもって進めなければなりません。

②府市連携局

住民投票の結果を受けて松井知事と橋下大阪市長が提案した、府と大阪市の政策調整を図る「府市連携局」の設置議案は、条例が可決された「大阪会議」の事務局を担う予定でした。

しかし、大阪市議会で先に否決され、府は議案を取り下げました。